



一週間の目標達成 小さな成果と大きな達成感

《9月22日(月)》

坂下先生から「学習オリエンテーションのリハーサルをするので見てほしい」というお願いがあった。「今年になって生徒たちの発表や挨拶が素晴らしいものになっているので、自分も短い時間の中で精一杯分かりやすく語って思いを伝えたい」ということらしい。生徒が素晴らしい。これは先生たちも負けてはいられない。

《9月23日(祝)》

せっかくの休みなのに、大谷選手の試合がない。非常に残念。応援する選手がいると、不思議と活躍した日は自分も頑張ろうという気持ちになる。逆に、活躍できなかったらテンションが下がる。人の気持ちというのは、周りに左右されっぱなしである。自分の気持ちを、自分の思いでコントロールできるようになりたいなあ。

《9月24日(水)》

がっかりしたことがあった。B & G体育館の使い方が悪いと地域の方から連絡があった。公共施設で管理人がいない。そこをどう使うか、これは使う人の「心」と「人間性」が問われているのだ。「あなたはどんな人なんですか」と。自分の行動に胸を張っていきいける、そんな中学生を育てていきたい。

《9月25日(木)》

鳳珠郡の校長先生が集まる会で、大川小学校と熊小学校の話をした。伝えたいことはたくさんあるのだが、それを整理して相手に伝えるのは本当に難しい。坂下先生のように、リハーサルが必要だ。

《9月26日(金)》

たくさんのお客さんが授業を参観された。「どのクラスも落ち着いていますね」「みんな真剣に授業に参加しています」「掲示物から頑張りが伝わってきます」お褒めの言葉をたくさんいただいた。生徒たちのこと、先生たちのことだが、自分のことのようにうれしい。

《9月27日(土)》

応援に行けなかったバスケの試合。男バスが1回戦勝利というLINEが届いた。やったね。奥能登大会ではファールが多くてひやひやしたが、今回は大丈夫だっただろうか。一試合、一試合の勝利を自信とさらなる努力につなげてほしい。

《9月28日(日)》

サンドウィッチマンのライブに行った。始まってから1時間20分が経ったが、まだ一つ目のネタにも入らない。それでも爆笑の連続。テレビではあまり見ることのできない部分で、改めて芸人のすごさを見た。感じた。結局ライブは3時間以上に及んだ。

学習オリエンテーションで、坂下先生から「一週間の目標を立ててみよう」という提案がありました。生徒がチャレンジするなら自分もやってみようということで、一週間の目標を立ててみました。「1日の終わりに、その日感じたり考えたりしたことをメモしよう」というものです。一週間やり切った今、ものすごく達成感があります。取り組んだことはすごく小さなことでしたが、大きな満足感があります。

学習オリエンテーション以降、何かを変えましたか？目標は立てましたか？小さなチャレンジと成果は大きな達成感や満足感となり、きっとあなたの進むべき道を照らしだしてくれるでしょう。

校長 廣澤 孝俊

10月行事予定

- 2日(木) 全校集会、生徒総会、文化祭集会
- 3日(金) 英語検定
- 4日(土) 全能登新人卓球大会
- 8日(水) 中間テスト 9日(木) 中間テスト
- 11日(土) 町PTA研究大会、町少年の主張大会
全能登新人大会(テニス・陸上)
- 12日(日) 全能登新人大会(テニス)
ワイン&牛まつり 吹奏楽部出演
- 24日(金) 漢字検定



11月行事予定

- 1日(土) 文化祭
- 3日(月・祝) 穴水町文化祭 吹奏楽部出演
- 4日(火) 週休日
- 5日(水) 6日(木) 3年地域学力調査
- 7日(金) 給食試食会・1年食育講話
- 10日(月) 全校集会、2年穴水高校出前授業
- 14日(金) 2年JFAこころのプロジェクト
- 20日(木) 穴水町中学生議会
- 23日(日・祝) 全能登新人大会(剣道)
- 27日(木) 28日(金) 期末テスト



仲間と共に輝いた体育祭 花様年華～きらめけ努力の結晶～

9月17日(水)、降雨も心配されましたが、「花様年華～きらめけ努力の結晶～」のスローガンのもと、本校体育祭を無事に開催することができました。学年ごとの競技や各団対抗の応援合戦、そして全校リレーなどで大いに盛り上がり、観客席からは仲間を応援する大きな声援が響き渡り、グラウンドには熱気と笑顔があふれていました。

応援合戦は、夏休みから3年生が中心となり準備を進めてきたものです。練習では1・2年生に思いうように伝わらず、苦勞する場面もあったようですが、本番ではどちらの団も声を合わせ、一体感のある応援を披露してくれました。また、3年生によるダンスは学年全体の絆の深さを感じさせるもので、会場を大いに魅了しました。雨の影響で解団式は体育館で行うこととなりましたが、そこには団の垣根を超えて心をひとつにする生徒たちの姿があり、まさに「穴水中学校がひとつになった瞬間」でした。

体育祭を通じて、生徒たちは仲間と力を合わせる喜びや達成感を改めて実感したと思います。次はいよいよ文化祭です。合唱や劇などを通して、再び穴中生が心をひとつにし、輝く姿が見られることを楽しみにしています。



3年生 vs 保護者！綱引き対決！！

昨年に引き続き、今年も3年生と保護者の皆さんによる恒例の綱引き対決が行われました。大人の底力を見せつける保護者の皆さんのパワーに、3年生も本気で挑み、大歓声に包まれる熱戦となりました。3年生にとっても、きっと忘れられない楽しい思い出になったことと思います。ご参加いただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。



穴水中学校×アスリート スポーツ交流会 ～＃スポーツを止めるな～

9月29日(月)、JOC(日本オリンピック協会)による「穴水中学校×アスリート スポーツ交流会」が本校で開催されました。パリ五輪ブレイキン日本代表監督の 渡辺将広さんの進行のもと、未来のオリンピックをめざす若手選手の皆さんと交流する貴重な機会となりました。生徒たちは、ボクシングやテコンドーを実際に体験しながら、スポーツの楽しさを肌で感じるすることができました。さらに、昨年に引き続き、柔道オリンピック金メダリストの谷本歩実さんも来校してくださいました。

パリ五輪ボクシング代表の岡澤セオン選手からは「自分がボクシングと出会ったのは高校生のとき。だから、自分の才能はいつ花開くかわからない。好きなことを見つけたら本気で挑戦してほしい。」という力強いメッセージをいただきました。

一流のアスリートと触れ合えたことは、生徒たちにとって大きな刺激になったことと思います。今回来校してくださった選手の皆さんのこれからの活躍を応援するとともに、生徒たち自身もそれぞれの夢や目標に向かって前向きに挑戦してほしいと思います。



今回来校してくださった選手のみなさん
 岡澤 セオン(ボクシング)
 橋本 将都(カヌー)
 石井 さやか(テニス)
 河合 利亜斗(テコンドー)
 馬場 柚那(アイスホッケー)
 渡辺 瑠伊(馬術)
 西村 光稀(スノーボード)
 高杉 柊吾(クリケット)



AKG(穴水中学校危機回避ガイドライン)～あなたの命を、家族の命を、町の人たちの命を守るために～

9月29日(月)の防災教室では、3年生が主体となって作成したAKG(穴水中学校危機回避ガイドライン)をもとに、全校で「マイ・タイムライン」づくりに取り組みました。

「マイ・タイムライン」とは、災害時に自分がとるべき行動をあらかじめ時系列で整理し、命を守るための避難行動につなげるものです。考える場面では、3年生が1・2年生のグループを回りながらアドバイスをし、上級生から下級生へと学びが広がる姿も見られました。また、学校防災アドバイザーの金沢大学准教授 青木賢人 先生から「マイ・タイムライン」作成のアドバイスをいただきました。

災害はいつ、どこで起こるか分かりません。そのため、生徒や教職員だけでなく、ご家庭でも一緒に考えることが大切です。ぜひこの機会に、防災についてご家庭でも話し合ってみてください。



🏆 奥能登新人大会 栄光の記録 🏆

奥能登新人卓球大会	女子団体 第1位				
	女子個人 第1位		第2位		第3位
	男子個人 第1位		第2位		第3位
奥能登新人剣道大会	男子個人 第1位				
	男子団体 第1位				
奥能登新人ソフトテニス大会	男子個人 第2位				
	女子個人 第3位			第3位	
	第2位				
奥能登新人バスケットボール大会	第2位				